

(国土交通省、東京都メモ)

東京外かく環状道路(関越道～東名高速)沿線区市長意見交換会について

1. 日 時： 平成14年1月15日(火) 午後3時～4時
2. 会 場： 東京都庁第一本庁舎北側42階 特別会議室B
3. 出席者： 大場 世田谷区長、矢野 狛江市長、吉尾 調布市長、安田 三鷹市長、
土屋 武蔵野市長、小林 杉並区助役(代理)、岩波 練馬区長
奥野 関東地方整備局長、木内 東京都都市計画局長

4. 意見交換の概要

(1) 各区市長から出された主な意見

外環計画について

- ・外環の広域交通に果たす役割は認められる。
- ・高架構造の計画には反対する。

地域についての意見

- ・地元で長い間反対してきたグループもあり、そのような地域住民の気持ちを十分に考慮し慎重に対応すべき。
- ・住民合意形成には十分に努めてほしい。地元では、計画が放置されて長年苦しめられた方々も存在し、やるのかやらないのかを明確にすべき。また、時間軸をはっきりすべき。

環境について

- ・環境に与える影響については、検討を行うべき。特に地下水など自然環境へ最大限の配慮をすべき。

ICやJCTについて

- ・ICやJCTについては地元で与える影響が多いため、その影響が分かる資料を早急に作成して提示、説明するべき。

その他

- ・高速道路の見直しと外環の関係が不明確。
- ・このような首長会議を継続的に節目節目に開催したらどうか。

(2) 国土交通省及び東京都から出された主な意見

第三者機関である有識者委員会のご指導を頂きながら、地元住民の方々との新たな話し合いの場であるPI協議会や地元説明会等を通じて地元住民の方々との意志疎通を十分に図り、外環計画の検討を進めて参りたい。

また、行政の考え方が明確になるようにして参りたい。

高速道路の見直し議論の結論はまだ分からないが、都市再生本部の第2次プロジェクトにあるよう国として必要な道路であるという方針には変わりない。

環境の現状調査には今年度中にも取りかかりたい。

本日頂いたご指摘を十分踏まえ、今後の計画の検討に反映して参りたい。

節目節目で沿線区市長のご意見をお聞きしながら進めて参りたいと考えているので、今後引き続きご協力をお願いしたい。